DIARIO No. 2543 S. Paulo 1 de AGOSTO de 1941 NOTICIAS DO BRASIL Redacção e Administração Rua Fagundes, 196 - Caixa. H

伯剌西爾時報

發行所
伯剌西爾時報社
聖市ファグンデス街一九六
電話七－四六七〇
購讀料 一ヶ年 六十缾
半ヶ年 三十缾

Snr. H. Koda
光田秀也殿
第一アリアンサ
第三區

珈琲相場 サントス四等 十キロ 三七、三〇〇
オ七等 二四、〇〇〇

爲替 對日 四、六〇〇
郵便送金 五、五七〇
對米 一九、六九〇
對英 七九、七二〇

我佛印進駐で考へたか 蘭印、對日接近の色濃厚
ファン・モーク經濟相から經濟交渉再開申入れ

此の蘭印の對日接近態度は、皇軍の佛印進駐と共に濃化して來たが、これは注目すべき現象として重視されてる

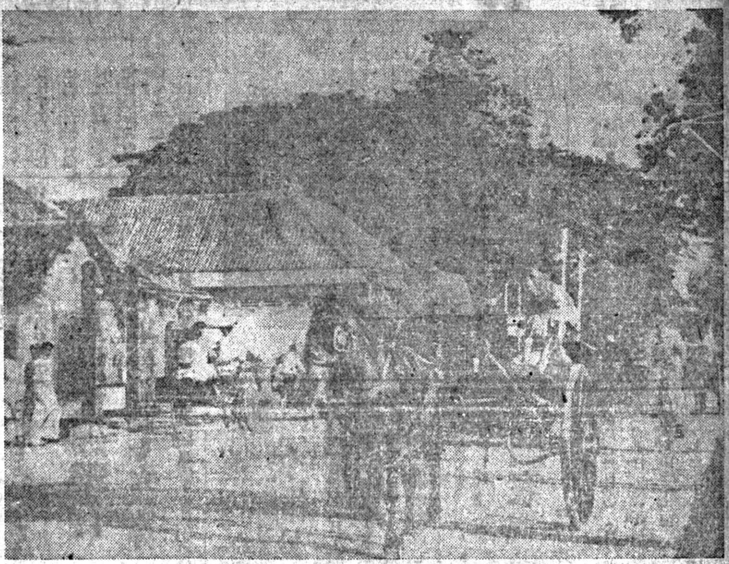
ファン・モーク經濟相

【バタビヤ卅一日發】（TO電）バタビヤ銀行頭取は三十日、正金銀行今川支店長と會見

日・蘭印金融協定の交渉を行つた

又ファン・モーク經濟相も卅日、石澤總領事を訪問

日・蘭印經濟交渉再開の用意ある旨申入れた



…蘭印首府バタビヤの街を走る馬車…

この馬には色々の飾りがつけてあり首つ玉には鈴がつけてあつて美しい音色を振りまく

"我南方鐵壁の護り"
佛印監視員 澄田少將・佛印を語る

【ハノイ卅一日發】（UP電）佛印國境監視員長澄田少將は着任以來一年經た卅一日午後三時、初めて新聞記者團と會見、次の如く語つた

日・佛印共同防衛成立で自分の役目は一先づ濟んだ、顧みると、自分は着任以來援蔣物資禁絶に主力を注いだ、それが支那、佛印の國境封鎖であり、これを徹底させる爲めの皇軍進駐となつたのだ、今度は更に佛印を第三國の侵略から免れしむるため共同防衛の具體策が成り、茲に我が南方の護りは鐵壁となつた、これで日本の大東亞共榮圏完成計畫が早められた譯だ

蘭印が日本へ 原油を毎年八百萬噸輸出

【上海卅日發】（UP電）當地に達せる某方面よりの情報によれば、蘭印政府は今回日本へ原油を毎年八百萬噸輸出を行ふ旨發表した

皇軍 西貢及び○○へ上陸開始
―陸軍報道部發表―

【サイゴン卅一日發】（HT電）南部の佛印進駐陸軍部隊は、卅一日午前八時、續々サイゴンに上陸を開始した、それに付、陸軍報道部では卅一日午前十一時、次の如く發表した

廿九日より我軍は佛印軍協力の下に○○港、○○港にサイゴン及び同地附近に上陸中なり、尚ほ同地最高指揮官は飯田祥二郎中將なり

佛印進駐の皇軍の最高指揮官飯田中將は山口縣の出身、陸士二十期生、大正四年陸軍大學を卒業、昭和五年師團參謀、近衛師團長を經て昭和十三年某要職に轉じた逸材である

近衛首相聲明
日本新に大戰爭開始か

【東京卅日發】（TO電）近衛首相は本日、日本は現在戰つて困る獨ソ戰よりもつと大きな戰爭をなすべく準備中である、凡らく此の戰爭は日本をより一層困苦の底に陷れることを覺悟せねばならぬ、よつて日本國内體制整備を益々强化するの必要があると聲明した

海軍が企劃本部新設
初代部長に小池中將就任

【東京卅一日發】（HT電）卅一日午後三時海軍省發表 海軍省では今度建築局を廢止し新たに企劃本部を設ける事になり、初代部長に現水路部長海軍中將小池四郎氏が就任する事になつた

小池氏は東京出身、本年五十六才、ブラジル大使館附武官、青葉艦長を歴任して昭和十年少將に昇進、水路部長となり、一昨年中將に進級した

陸相、總長 佛印指揮官へ祝電

【東京卅一日發】（TO電）東條陸相並びに杉山參謀總長は卅一日、飯田最高指揮官宛夫々次の祝電を送つた

東條陸相祝電 南部佛印に第一歩を印するに當り全員無事上陸を了したる勞を謝すと共に、これが成功を祝し、閣下の御健闘を祈る

杉山參謀總長祝電 佛印進駐の完了を祝すと共に、適切なる指導の下に皇軍の威容を宣揚せられん事を祈る

進軍ラッパの音高く 皇軍堂々西貢に入る

【サイゴン卅一日發】（TO電）サイゴン上陸部隊に從軍した同盟通信員は、その模樣を大要次の如く報じてゐる

皇軍を乘せた輸送船は○○司令船を先頭に卅一日午前五時三十分、サイゴン入港を開始した、船は三十分の間隔を置いて棧橋に横附された、水は青く澄んで飽くまで深い、正午我々はサイゴンに着いたのだ

又第一陣をうけたまはつて午前六時サイゴンに上陸した部隊に從軍した同盟通信員はサイゴンの模樣を次のやうに報じてゐる

午前五時三十分皇軍を乘せた第一番船が棧橋に横づけされた、午前六時朝靄立ちこめる埠頭に颯爽と整列した、大地に徹する進軍ラッパを先頭に堂々の進軍を開始した、これに協力した二百名の自轉車警官隊が動員されて警備の万全を期す、將士の顏も緊張と感激に一入輝いてゐる、正午市内廣場で飯田最高指揮官の閲兵が始められた、電車も自動車も交通は一切停止された、群衆は廣場へ廣場へと押しかけてゐる、かくて佛人、安南人の感激は高潮に達して行く

サイゴン港はサイゴン河を遡る事四、五時間の所に在り佛印南部の商業、交通、文化の中心地である、人口十三万人、二十隻以上碇泊出來る設備があり、二十數個所の繫船所もある、サイゴンは米の輸出港としてその名が高い

對米生糸絹織物に輸出統制
佐近司商相・發表

【東京卅日發】（TO電）佐近司商相は今回北米が實施した日本人資金凍結の一對策として本日聲明する處によれば日本は北米が多量に輸入する生糸及び絹織物に對し輸出統制を制定即時實施する旨發表した

米砲艦爆沈事件 戰爭と同一行爲
下院代議士絶叫

【華府卅日發】（UP電）北米議會に於て多數の代議士達は日本空軍の今次揚子江に於ける北米砲艦タツイラ號爆沈事件を重大視してるが、民主黨代議士コルマック氏は下院にて、該事件は戰爭行爲であると絶叫した

我空軍揚子江で米砲艦を撃沈
米政府、我方へ申入れせん

【華府三十日發】（R電）北米海軍當局の本日發表によれば、昨日支那揚子江航行中の北米砲艦タツイラ號は重慶爆撃に向ふ日本爆撃機のため爆沈された

【華府卅日發】（HT電）ウエルズ國務次官は、本日北米政府は今回支那揚子江上に於て日本空軍の爲め北米砲艦タツイラ號が爆沈された事件に付、日本政府へ申入れを行つた旨聲明した、尚同次官は、重慶駐在北米大使に對し日本政府へ右の趣旨書類を以て通達せよと命じた

日本、英米と一戰辭せず
東京各紙强硬筆陣

【東京卅日發】（UP電）東京各紙は一齊に筆陣張り、万一英米側が戰爭を欲するならば日本は何時でも一戰を辭するものでないと强硬論を掲げ警告を發した

ソ波同盟成る

【倫敦三十日發】（UP電）本日當市に於てソ聯大使マイスキー氏は、波蘭側のシコルスキー將軍との間にソ波相互援助同盟に調印を行つた

占領地内の英米商社 日本軍が收用

【上海三十日發】（UP電）確かな筋より當市に達せる報によれば、日本政府は支那に於ける日本軍占領地域内英米人商社の收用を開始したと謂れる、而して奉天、芝罘、大連、青島、天津其他に在る英米商社は既に日本軍が占據した

英國艦隊マラッカ海峽封鎖用意

【東京卅日發】（HT電）泰國各紙の報ずる處によれば新嘉坡に待機中の英國艦隊は馬來聯邦防備の爲、必要とあれば直ちにマラッカ海峽を封鎖すると發表したと

英が獨人退去要求 イランこれを拒絶

【倫敦卅一日發】（TO電）獨逸がイランに侵入するであらうとの噂の高い折柄、卅日テヘランからの電報に依ると英國政府はイランに對し、在留獨逸人の退去を慫慂した處、イラン政府は獨逸人を退去させる事は即ちイランの中立を破る事になるとの理由で英の申入れを拒絶した

重慶、ビルマルート昆明の防備强化

【東京卅一日發】（HT電）日佛印共同防衛成立の報に驚いた重慶では卅日委員會を開き、これが對策について具體的協議を行つたが雲南―ビルマルートの强化、昆明防備の强化などに重點を置く事に決定した

西貢市街の一部

佛が國府を承認

【東京三十日發】（R電）當市に達せる情報によれば、今回佛印に關連せる日・佛協定の成立により、佛國は日本と非常に親密となつたので、佛國ヴイシー政府は今回、日本の支持する南京國民政府を承認することになつた

帝國 蘭印との諸條約廢棄

【東京三十日發】（HT電）日本政府は蘭印政府との通商其他の條約を無効廢棄する旨、本日公表した

ソ聯が中立保障要請
豐田外相條件附承認を回答

【倫敦三十日發】（UP電）ソ聯は日本政府に對し獨ソ戰爭に關連して中立維持の保障を要請して來た、これに對し豐田外相は、ソ聯が浦鹽の武裝解除並に東部シベリヤへのソ聯軍集結を減員することを承認すれば、日本は今後とも中立を確認するであらうと回答したと

獨逸公使 ボリビヤから退去
日本へ赴く

【ラパス卅一日發】（UP電）ボリビヤ政府から國外退去を命ぜられた同國駐在獨逸公使エルンスト氏は、一日バルパライゾ出帆の便船で日本に向ふ事になつた、尚ほ同公使は日本に當分滯在の上、獨逸に歸る豫定だと

ル大統領 物價統制教書送る

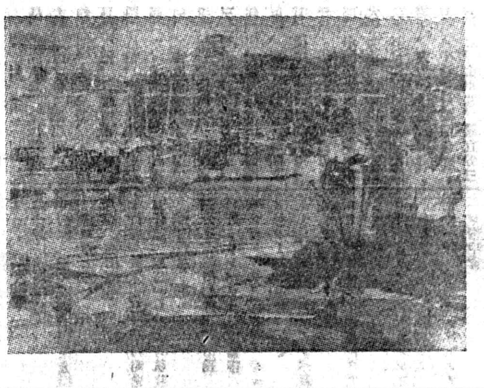
【華府三十日發】（R電）ルーズベルト大統領は國防上必要なる物資貯藏準備に伴ふ物價統制に關する法令布告の必要を力說した教書を明日の議會へ送ることゝなつた

葡國大統領アゾレス島へ飛ぶ

【リスボン三十日發】（R電）大西洋上のポルトガル領アゾレス島防備强化の爲め向つた大統領カルモナ氏は、カルヴアリヨ・アラウジヨ號にて昨日サン・ミゲルに無事到着、同島民の大歡迎を受けた

米、對ソ援助物資輸送方法を協議

【モスクワ三十日發】（R電）ルーズベルト大統領の特使として英國へ派遣された（ヘンリー・ホプキンス氏は、本日倫敦に到着し、北米大使に伴はれモロトフ外相と會談した後スターリン書記長とも會見したが、右は北米からソ聯への援助物資の輸送方法につき、協議を遂げたものである



―バタビヤの魚市場―

二人草三郎
（無斷轉載上映）

小堀　雄
繪 小川倚霞

（百七十三） 江戸へ（二）

「オホツホツホ……」小夜の詰問の言葉が分るのか、分らぬのか、光葉は屈託のない笑ひ聲をひゞかせた。「でももういゝのよ……そんなに心配しなくとも……そりや松太郎様はあゝして燒け死んだのは本當にお氣の毒でしたけれど……その代りには、その代り親の敵だなんぞと濡れ衣を着て草三郎も討たれずに濟むし、お父さんも死なずに濟むのですから……ホツホツホツ」「えッ、草、草三郎ですつて！？――」小夜の聲が、思はず上ずつた。「ね、光乃さまとやら、もう一度今の事を仰有つてみて下さい」「オホツホツホツ……」

ねんねんころりよ
ねんねしな……」

光乃はけろりとして、駕籠の上から菅笠を手に取るや、胸元に抱込んで、

ぼうやのおもりはどこいつた――

「まア……」小夜はその狀にまぢ／＼と眼を瞠つて、美しい眉根を傷ましげに寄せた。

冬の陽ざしを浴びて、觀音堂の境内へ、時ならぬ繪を繰展げたやうに、世にも眉目麗しい女性が二人……

而も一人は哀れな狂女……

一人は、あたら蕾の花をこの墨染姿……

光乃は、あの山の一つ家で松太郎が柱に縛り付られた儘燒け死んだと思ひ込んでゐること、狂つたやうに挑みかゝる下男の吾作を避ける機に誤つて谷底へ突き落してしまつたこと――重なる心の激動にあの夜、心が狂つたまゝ、いつ舊に復す可しとも思はれない。小夜は、自分の横戀慕ゆゑに、非業な死にざまをしたお君の菩提を弔ふ爲めに、綠の黑髮を剃りこぼつて、あれ以來この觀音堂に籠もり、日に五十卷の觀音經を讀誦して罪障消滅を願つて行ひ澄まして來たのであつたが、今計らずもこの狂女の口から草三郎といふ名を聞いて、我れにもなく心がときめいて騷ぐのを何うする事も出來ぬのだつた……。「あの……若し、草三郎と仰有いましたが……若しやその方……」

あのやまこえてたにこえてさアとのおみやはなにもろた――

無心に唄ひ續ける光乃は、小夜の熱心な問ひに答へようともしない。「おうや、おや又始まりましたね」

唄聲を聞きつけてひよつこり庫裡から姿を現はしたのは判人の源六、

「それぢや堀川の旦那、ぼつ／＼と出掛けませうかえ、お蔭でゆつくり午飯も此所で使はせて貰つたし――江戸がだん／＼近づくと思ふせゐか何んだらけふはいゝお天氣……」

「娘の我儘から源六どのにも飛んだ道草をさせて氣の毒であつたの」

續いて半三郎も庫裡から姿を現した。

「なアに旦那え、お孃さんが何うしてもこの堂へ寄りていといつてきかねえので、街道からは大分寄り道をして來て見ましたが、こんな堂にあんな繪から拔けたやうな若い尼さんが行ひ澄ましてゐたなんぞは、ヘッヘッヘ、源六、お蔭で飛んだ眼の正月を致しやしたよ」

「いかにもな……由緒あり氣な樣子ぢやが、世の中にはいろ／＼な身の上の女性があるもの――」

「晝間だから旦那にも見えたでござんせうが、ヘッヘッ、何んならお孃さんの身代りに吉原へ連れて參りたい程の飛び切りの上玉でござんさアー全くこんな所へ置くのは惜しい玉で――」

「これ、何を云はるゝ、佛罰を恐れぬか」

「はッはッ、江戸の源六、いやはや何うも商賣には誠に熱心な男でござんして――はッはッ」云ひながら境内を横ぎつて、いつか二人は駕籠の側へ近づいた。

皇軍の重慶攻撃近し

蔣介石軍 英司令官の指揮仰がん

【東京卅日發】（HT電）當市に達した同盟電によれば、英と重慶政府間の軍事同盟は即時效力を發生し、今回日本軍の重慶攻撃に備へ蔣介石軍は英國極東軍總司令官ポーペン將軍の指揮を受け抗戰することになつたと

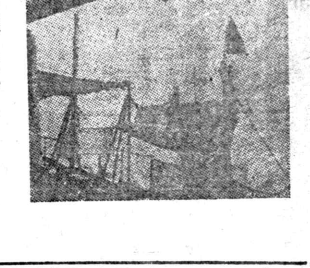
第二十五回 重慶大爆撃行 殘る軍事施設を大粉碎

【東京卅一日發】（TO電）中支艦隊報道部卅日午後六時發表　我海軍機は卅日午前九時から午後五時までの八時間に亘り、第二十五回目の重慶大爆撃を行ひ、城內の主要部及び西方郊外の敵殘存軍事施設を粉碎、多大の戰果を收めた。

胃腸に エビオス

無事使命果して 矢野氏一行淡水着

【東京卅一日發】（HT電）泰佛印國境劃定委員矢野氏一行を乘せてバンコックに飛んだ白雲號は無事使命を果し、廿九日淡水に到着、一日横濱に歸着の豫定だが、一方第二番機黑雲號は一日横濱空港を出發する事になつてゐる



我が精鋭長江の護り固し
母艦から僚艦へ信號する勇士

第十六回 國家總動員審議會 三十日首相官邸で開催

【東京卅日發】（HT電）第十六回國家總動員審議會は、卅日午後二時から首相官邸で開催、諮問第五十三號金屬類に關する件他四件を上程審議したが、此の會議は明日終了の豫定である

ソ聯の婦人將校 …戰車直しの名人…

赤いルージユや白粉棄てゝ敢然と生産戰線に働く娘さんの姿は最近特に目立つ風景だが、こゝに紹介するのは日本では見られないソ聯の婦人將校だ、しかもパリ〳〵の赤軍技術大尉で、戰車直しの名人といふ（寫眞〇印）彼女の名はタチヤナ・ブズノヴアといひ、赤軍機械化大學にあつて軍服姿も颯爽と毎日油にまみれながら巨大な戰車の優しいお守役をつとめてゐる、日本でも織手よく戰車を直す娘さんの現れる日も遠くはあるまい

強化された外國爲替管理（完）

＝外國爲替管理法改正法律の解説＝

四、爲替銀行を通せずに對外決濟をするための本邦內若くは外國における支拂、若くはその受領、又は外國に於て爲す支拂の本邦內における委託を新たに取締ることにした點

改正法第一條第四號乃至第六號の規定がこれに該當する、爲替銀行を通じて行はれる取引に對する統制が整備、強化されるに伴つて爲替銀行を通じないで行ふ對外決濟、即ち爲替に關する知識、經驗が豐富になるに從つて、在外者と在內者との拂人間の取引によつて爲替取引と同樣の實を擧げる取引が漸次增加して來たので、本規定によつてかやうな銀行外の對外決濟も取締ることになつた

五、日本銀行その他政府の指定する者に對し、本法の施行に關する事務の一部を取扱はせることにし、當該事務に從事する日本銀行その他政府の指定するもの、職員は公務員と見なす等の規定を新たに設けた點

改正法第六條がこれに該當する、本法に基く事務の中には急速且つ簡易に處理する必要のあるものが少く、又その分量も今後ますます增加する趨勢にあるので、必要に應じて日本銀行その他に事務を代行させて、臨機應變の取扱をしようとするものである

六、本法の施行に關する事務に携つてゐる者又は携つた者が本法による職務執行上で知り得た秘密を漏洩又は竊用したときには處罰する規定を新たに設けた點

改正法第十四條の規定がこれに該當する、これによつて取締を受ける者の利益を擁護すると共に本法の重大性に鑑み本法に基く行政事務に關與する者の責任を加重したものであつて、最近の統制法規にもその例をみることができる（臨時資金調整法第二十條國家總動員法第四十五條）

七、從來の現行法運用の經驗に徵し追加補整を必要と認めた事項

これに該當する規定は相當多岐に亘つてゐるが、その主な事項を掲げると

1、主に爲替銀行の仕向、被仕向取扱、依賴爲替の取扱ひを取締ることにした點（第一條第七號及び第八號）

2、調査及び檢査權限に關する規定を擴充し、新たに爲替管理上に必要な帳簿書類の備付を命じ、若くは帳簿書類の記載方を指定し又は違反事件調査の爲に訊問、搜索若くは差押權を附與した點（第五條）

3、實體規定の新設、變更に伴ひ罰則規定を整備した點（第七條乃至第十條）

4、取締の徹底を期すために許可の附帶條項に違反した者に對する規定を新たに設けた點（第十一條）

5、通貨若くは外國通貨又は證券の輸出入に關して、その未遂行爲の處罰規定を新たに設けた點（第七條第二項）

以上が今回の法律改正で新設追加又は變更された規定の概要であるが、これによつて現行法の內容は更に一段と整備強化され、國際的非常時下の複雜な對外經濟關係を規律統制するにふさはしい體制を確立したわけである

紫外線、小兒科專門 ドトール クワベルチーノ
ソロカバナ線 プ・プルデンテ市
ニーロ・ペサーニヤ街三十五番地
（片岡ホテル側）
各科診療
笹田醫院
マリリア市カンポスサーレス街二五七　電話　三一二三

山田齒科療院
聖市パロン・デ・ヅプラット街八九
電話二一七五〇八
（中央メルカード際）

風呂及釜 ブリキ細工
都會は弊店製に限る衞生に經濟に又木製より强く大衆向きであります駒場ブリキ店
コンデ・デ・サルゼーダス六七

尋人

鹿兒島縣人
下小牧惣藏　三十五才
仝　初惠　三十才
急用あり住所知り度し本人又は御存知の方は左記宛御一報煩度候
Simokomaki C. P. 10 Cravinhos E. F. M.

急募
職人及見習 數名
チンツラリヤ オネスタ
ルア、アラメイダ・ロレーナ二一一、電話七一二八〇六

尋人廣告

左記ノ者等ノ現住所承知致度ニ付本人又ハ御存知ノ向ハ當館迄至急御一報相煩度

記

一、郷里ヨリノ送金當館ヘ到着シ居ルニ付本人當館ヘ御出頭相成度
宮城縣志田郡敷玉村大字檜木字街道南二十四番地
關三郎妻　手島よし
明治二十九年十二月十一日生

一、所在調査願ニ關スル件
熊本縣宇土郡三角町
大久保久太郎
福井縣今立郡舟津村西鯖江三十九番地　元住所セントラル線サンミゲール驛
岡田等
岡山縣小田郡三谷村大字横谷二八二六番地　元住所ソロカバナ線プレシデンテ・ウエンセスラウ驛
西山義雄
山口縣玖珂郡御庄村大字御庄
國廣勉三
（推定）北海道人
福田重五郎

昭和十六年七月二十四日
在サンパウロ
大日本帝國總領事館
Consulado Geral do Japão
Caixa Postal, 1167
São Paulo

SUL AMERICA CAPITALIZAÇÃO
A mais importante Companhia de Capitalização da America do Sul
AMORTIZAÇÕES de JULHO de 1941
No Sorteio de Amortizações realizado ontem foram sorteadas as seguintes combinações:
XNO IRR NOV RTB TZI DKR
Todos os portadores dos titulos em vigor, sorteados com estas combinações, poderão receber immediatamente o capital garantido a que têm direito.
Séde Social: RIO DE JANEIRO
Succursal em S. Paulo: R. 15 de Novembro, esq. de Anchieta
(EDIFICIO SULACAP)
— Inspectores e Agentes em todo o Brasil —

BANCO AMERICA DO SUL LTDA. BANCO AMERICA DO SUL LTDA. BANCO AMERICA DO SUL LTDA. BANCO AMERICA DO SUL LTDA.
南米銀行

ARMAZEM KAIKO LTDA.
SECÇÃO DE ADUBOS
Caixa Postal, 1602 São Paulo
肥料
骨粉 海興
マタドール
米糠 等各種
肥料大量揃へて居ります
此の際多少に拘ず御用命の程願上げます

聯邦農務省御用・聖州農務省御用
果樹苗
セントラル線モヂ驛郵函三四
本多果樹園

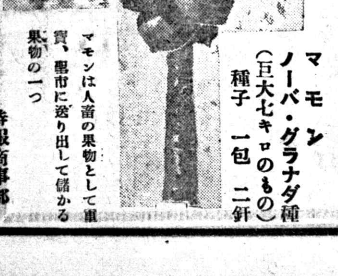
各地方商店に有り
輕ク丈夫デ安イ
輕便勞働靴ヲ
（專賣特許番號二一二七一―二〇三三）
並ニ勞働用皮ゾーリ
御使用ノ節ニハ ゼヒ
アラート"
伯國全産業組合御用達

南大河州水害救濟 義捐金寄附者芳名（第十回）

▲ノロエステ線
二百軒 バール・パライゾ市青年會、處女會
七百二十五軒 グワルーリヨス日本人會
五百軒 サンパウロ大原商會
◎ノロエステ線ビリグイ町ビリグイ青年聯盟扱
五十軒宛 公明支部及日本人會、ジヤンガーダ支部
三十軒宛 バイネーラ支部、ミルアルケル支部
二十五軒宛 ビラッキ中央支部、ビラッキ聯合支部、バレーロ支部
二十軒宛 新興支部、精華支部、ノーバ・オリンピア支部及日本人會、エリージョ支部、ブルゴール支部
五軒宛 大川鹿太郎、岩井爵雄外一名
二軒 古賀子之熊
▲トレス・バラス
五十軒 トレス・バラス青年團
五十二軒 トレス・バラス青年團員一同
▲サンパウロ
二百軒 伊藤陽三商會
五十軒 ガラージ・コングレツソ
五十軒 石元・岩郷共營果實店、玉置果實店、笠原果實店
五十軒 汎スザノ産青聯盟
百十八軒六百レイス ピニエイロス大正小學校職員兒童一同
◎北パラナ、ピラ・ジヤポネーザ青年會扱
十五軒宛 古賀又三、江田榮一、矢野勇次郎、鍋島義松
十二軒宛 原野剛七郎、西粂司、吉良
十軒宛 丸林和七郎、古賀與次郎、藤井皆造、良永繁太上野清、古賀榮吉、橋本學實藤勘太、古賀、荻原、柳瀬、山下、岡田
八軒宛 中野、森部卯市
五軒宛 重松與助、秋吉逸男矢部今朝男、木村亟治、鳥井圓平、稍谷、片山、片山粂重、川畑三郎
三軒宛 牧尾、渡邊
◎アルジヤ日本人會扱
十軒 中山十次郎
五軒宛 玉田善九郎、宮坂勝美、天野武藏、野村學、岩井一二三、西岡一士、筒井理之、內山敏夫、橋本德惠池川淸水、川上理之助、新明竹次、前地哲夫、天野衛義、籠原勇吉、人見長吉、小笠原千秋
三軒宛 齋藤健作、西山八十次
二軒宛 河野竹人、松崎三五宮原三次、田村弘、山本富三郎、竹本京誠
◎パウリスタ線ツパン町ツパン日本人會扱
六百軒 ピタンゲーラ植民地、花園植民地、アナポリス植民地、第一ジユレーマ植民地、第二ジユレーマ植民地、第二プログレッソ植民地、ツパン日本人會
▲パウリスタ線カブラリヤ驛
百軒 鈴木醒義
二百三十七軒 マツトン町青年會
▲ノロエステ線プロミツソン
七十軒 旭植民地日本人會
十軒 サンタ・オリンピア日本人會
▲サンパウロ
二十軒 小山貢
五十軒 サンパウロ歌會
二十軒 サンパウロ歌會日曜學校生徒一同
▲パウリスタ延長線キンターナ驛
七十軒 日東青年會
百五十軒 朝日日本人會
▲パウリスタ延長線ガルサ驛
百軒 ロツサ・グランデ植民地
▲モヂアナ線イツペラーパ驛
二百七十二軒 イツペラーパ青年會、日本人會、報德婦女會
四十軒 朝日青年會
▲パウリスタ線オリエンテ驛
三十軒 ジヤトバ日本人一同
▲ソロカバナ線ランシヤリヤ驛
六百一軒 中央青年會、ナデシコ會
▲サンパウロ・パラナ線ローランジヤ驛
百四十五軒 ロバツト・ピトリヤ植民地日本人會、青年會
◎パウリスタ線ポンペイア驛日伯青年會扱
百軒宛 宮崎商會、ミズホ日本人會、鈴木重雄、竹原亮
五十六軒 ジヤンガーダ青年會
五十軒宛 オリエンタル日本人會、グワリタ青年會
十五軒 河野幸喜
十四軒 西村俊治
十軒宛 福田長一、菅山輝吉、西川支店、藤岡登、太田林一、吉山市五郎、河野照之青木權次郎
五軒宛 西畑鐵夫、小野善司郎、守越敬一、富田市次、今本淨、桑原勝、池田清、菅原辰次、黑木靜二、高本義友、横井一彥、中戸義登太郎田衞、高木薫、岡村忠親、小原梅義、本田久夫、島田多喜智、中川健一、新城清榮、沓脫鎭、神野幸雄田邊亮一
三軒宛 山下勝、イルモンスロネツト
二軒宛 野田義正、松尾初喜、鹿淵一明、新田福三郎、木藤武盛、佐藤彌一、花田榮雄、小田啓一、清水唯雄、橋富恒一、林若松、三好榮瀧口滿治、磯山果實店、小松島一、渡一夫、松野尾泰行、桑山正春、佐藤信、西畑亮二、太郎田利、高木林山下博美、江川悦郎、村崎正三郎、笹井義雄、石黑實淵田實治
一軒宛 芝作雄、河內一郎、荒卷義秀、須藤力、大累一郎、中野西雄、坂口久雄、寺田力莊
▲パウリスタ線モツカ驛
五十軒宛 東京植民地植民者一同、東京植民地青年會員一同
◎北パラナ、クリチーバ日本人會扱
二十軒宛 臼井仁介、東野晋市
十軒宛 金山喜三郎、鷺田準雄、今黎紿矢市、山田勇、小笠原淸八、安元恒雄、安達温生、齋木齊
五軒宛 忽滑谷安美、渡邊薫紺野多藏、川瀬久、阿蘇秀男、入江福義、西野彌三次米岡四一、沖野友吉、園宗吉、安元保、濱崎貞雄、渡邊德市、濱崎谷松、福岡春生、東光太郎、綾部銀六、荻原甚太、大崎稚通、後藤正利、大村養之亟、山崎、齋藤良雄、植村謙一郎、高岡英一、伊林寛、濱崎智、都甲楢治、角田齊、大力寛治、北村忠雄、山口忠海、橋本信治郎、青砥利國、石井宮八
◎北パラナ、インガ日本人會扱
二十軒宛 吉岡嘉市、淺尾實造
十五軒宛 中里龜吉、眞榮里次郎
十軒宛 出口丈八、曾久原朝昌、當間歡麻、金城芳榮、大城忠造、曾久原朝和、幸仲太郎、金城長榮、大城龜島袋仁把、江連廣吉、大槻岡田忠治、小波津牛、名嘉眞布樽、泊池昧浩、吳屋善助、又吉恩治、鈴木次郎、伊賀與作、西藏次、宮尾讓三郎、宮尾、伊藤力三郎、伴四郎、是友孫次郎、西尾留一、瀬古義信、古畑順次郎、淺尾俊一、外崎興平
五軒宛 新垣光市、國吉勇次郎、中里線太郎、荒木一馬大野清治、鈴木正一、國吉勇太郎、松原、鈴木、松岡吉良、大內、上田、田島、古本富平治、戸崎清作、又吉正善、山川松、屋宜健三郎、嘉數次郎、赤嶺龜、白石茂七、名木田正、平松善平、井上政市、池田三郎、濟藤誠一
三軒宛 藤川次郎、田中新一杉浦初次、奈良田十、槙田周市
二軒 幸坂
百三十軒 北パラナ、アントニーナ日本人會
◎北パラナ、サンタマリヤナ驛明德會扱
十五軒宛 江藤龜雄、佐々木彌太郎、土岡亨
十軒宛 寒河也淸太郎、赤羽定雄、奥山四郎、三宅鍋一古賀正祐、南喜三郎、森朝敬、南貞次郎、水野貞一、中村銀七、奥山孝三
五軒宛 岩本吉隆、十龜末吉鈴木力枝、奥山靜夫、佐藤藤平、田中湊、福島勝介、池田定一
三軒宛 筒井博美、奥山信義
◎ソロカバナ線ピケロビー驛共和日本人會扱
十五軒 小田久一
十軒宛 田村眠、草場福太郎中尾常次、田中德次、中野峯藏、須山伴藏、阿曾沼作藏、岡田嘉九一、鮫島明治佐々木惣八、須山芳太郎、夏見次三郎
五軒宛 笠島儀松、龍頭作藏笠熊藏、龍頭茂雄、橘正二鮫島猛、沖川末太郎、蘇理重兵衞、阪東惣作、笠井保之、深澤仁作、赤松濱次郎大部隆、川口豊藏、仙洞田義秋、平尾定、水口勇次、辻昌平
三軒宛 野瀬久男、吉原道夫吉原君雄、佐々木時治、椿善四郎
◎アラクワラ線リオプレツト驛ピラ・ノーバ・アリアンシア
二十軒宛 高尾万太郎、井手善晉
六軒宛 高尾龍藏、貫喜郷
五軒宛 山中末雄、玉城眞仁玉城正義
四軒 大城大盛
◎パウリスタ線ポンペイア高千穗植民地日本人會及青年會扱
五十軒 高千穗青年會
三十軒 宮木良一
二十軒 永尾梅雄
十軒宛 橋本廣志、原保太郎緒乃軍太郎
八軒 沖田仲平
七軒宛 波木要三、緒乃明光
五軒宛 加藤一人、古河秋歡西田嘉三
三軒宛 畑田初藏、津田氏
百軒 サンパウロ早野彌作
一コント・デ・レイス ジユケリー農産組合
二百軒 鐘ケ江久之助
▲サンパウロ郊外サント・アンドレ
百軒 ピラ・コンセツソン日本人會
七十一軒 ピラ・コンセツソン青年會
▲ソロカバナ線プ・プルデンテ驛
四百二十軒 プ・プルデンテ婦人會
▲パウリスタ線ポンペイア驛
二百軒 チヤクチンガ青年團
同女子青年團
◎パウリスタ線ポンペイア市ミランダ青年會扱
二十軒 ミランダ青年會
十軒 山田竹一
五軒宛 唯野辰次郎、山本卓夫、長谷松太郎、河野乙次郎、二宮軍、二宮忠茂、角田勘次郎、山根政次
三軒 吉田重敏
二軒宛 掛橋長六、江頭正德長谷幸作
一軒 紙谷清一
◎セントラル線フエラス・デ・ヴアスコンセロス驛ロマノポリス青年會扱
十軒宛 宇多賀敏次、野上正勝、河村庄三郎、寺本勇藏
五軒宛 供田武義、成澤純松吉田和夫、長尾瀬市、隈部茂富
▲セントラル線ピンダモニヤンガアパ在留者
二十軒宛 安田、叶野、竹澤渡邊、宇佐美、野口、梅津藤波、丸山、小田、高木、植田
十軒宛 廓口、吉永、開、神保、森口、杉、渡邊、志田山本、西口、澁谷、西口、筒井、保村、堂本、岩田、江島
▲アラクワラ線モンテ・アプラジヘル
五十軒 プラガ青年會
百軒 プラガ日本人會
▲ノロエステ線グワイサラ驛
五十軒 アグア・ペレーザ青年會
十軒 サンパウロ植森俊之
▲ノロエステ線リンス驛
七十軒 アリアンサ植民地同志會
▲パウリスタ線モツカ驛
五十五軒 平野一夫
◎ドラデンセ線アラルーパ青年會
五十二軒 アラルーパ青年會
五軒 石崎一郎
三軒宛 荒木武太郎、川端加邦
二軒宛 仲藤吉邨、荒木武次郎、齋藤市太郎、遠藤方治荒木三郎、外間蒲戸、仲本興榮
一軒五百レイス宛 白石武美山本、先川
▲ノロエステ線グワランタン驛
百軒 グワランタン青年聯盟
計 伯貨拾貳コントス八百貳拾八軒百レイス
累計 伯貨百九コントス參百九軒四百レイス

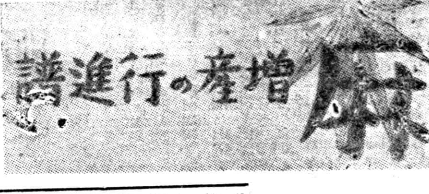
發企者 ブラジル朝日新聞社
聖州新報社
南米新報社
後援 伯剌西爾時報社
在伯大日本帝國大使館
在伯各帝國領事館

▲パウリスタ延長線マリリア
六十軒 アグア・デ・ホルミーガ青年會
▲北パラナ國際植民地
四百六十九軒五百レイス ロンドリーナ日本人會九十名分
◎ノロエステ線プロミツソン驛汎プロミツソン日本人會扱
六百軒 プロミツソン町日本人會
七十軒 バレリンニヨ日本人會
五十軒宛 ゴンザーガ日本人會、ビリグヰジンニヨ區日本人會、バツチンニヨ青年會
三十八軒 ノーバメント日本人會
三十軒宛 バツチンニヨ日本人會、カスカチンニヨ日本人會
二十九軒 フロレスタ日本人會
二十軒宛 サツペジンニヨ日本人會、ボンスセーソ日本人會、ケシヤーダ日本人會
十八軒 ピラ・デ・ジニシヤ日本人會
カスカチンニヨ青年會
十六軒 サンタ・イザベル日本人會
十一軒 パラマンサ日本人會
十軒 新海龍次
◎パウリスタ線ツパン驛プログレツソ植民地日本人會扱
二十軒宛 中村ヒラヲ、淸原義政
十軒宛 高保義元、澁谷秀吉、松村順三郎、武田市次、大西常太郎、篠原勇
七軒 岩坂彦藏
五軒宛 森野勝惠、大森倉太伊達浩、田村菊之進、木村幸福、田中稻太郎、石岡秀雄、野界武一、高保善林、高保利雄、井戸晉五郎、田中元介、松井湧彌、中井貞勝、土井政和、岩永彌左嘉市川藤市
三軒 小野寺儀粂



マモン
ノーバ・グラナダ種
（巨大七キロのもの）
種子 一包 二軒
マモンは人畜の果物として重寶、聖市に送り出して儲かる果物の一つ
時報商事部

日麻會社の伯國進出
北巴でラミー麻大々的栽培！
將來は紡績工場をも建設



現下世界の緊迫せる情勢は伯國の經濟に少からぬ影響を及ぼした事は言を俟たぬ處であるが、これに從ひ反面また國內產業が、著しく進展しつゝある事も事實である、物資の多くを國外より仰いでゐた當國はせめて國內消費の自給だけでもとの氣運は自然の動きであり迫られた問題でもある、かくて國家經濟の鞏固なる基礎となる各種產業の開發は頗る活潑を極めてゐるが、こゝに一邦人會社がラミー麻栽培に新生面を開拓せんとする近頃耳よりな話がある

母國に本社を有する資本金二千万円の日本麻糸株式會社は人絹代用品としてラミー麻栽培に乘り出し、北パラナ、ピリアユツトに四百アルケーレスの土地を買收、本年度は二百アルケーレスを伐採しコロノ數十家族を入れて大々的に開墾栽培することゝなつた、既に本社より重役一名現地に出張し熱心に種々畫策し、苗木仕立は昨年より同地海興支店長宮腰氏所有土地にて試驗栽培し良好の成績を擧げたので將來有望事業と確信を得、收穫物は母國本社に送り、ゆくくは現地に紡績工場も建設、植栽から製品までを一手に獨占經營すべく大發展を目論でゐる

松本書記生
免稅許可さる

【サントス三十一日發】サントス稅關監督クラビオ・ワシントン氏は、日本外務省よりの免稅通關申請により、來る八月八日サントス入港の商船ぶえのすあいれす丸で聖市總領事館に赴任して來る筈の松本三郎書記生の携帶荷物全部に對し免稅許可の發表をなした

對南米貿易
最近未曾有の大激增
增加を辿る米國の

在紐育、伯國通商振興會事務局から伯國勞働省宛てのパンフレツトによれば米國の對南米大陸諸國商取引貨物噸數は未曾有の大激增を示してゐる、即ち一九三九年九月卅日迄、南米東海岸諸國宛て運輸量は汽船廿一隻、貨物十一万六千六百四十二噸であつたが、既にこれを遙に突破、汽船卅三隻、貨物廿万三千百十七噸と云ふ數字を示してゐる

西海岸宛ても勿論大增加で三九年九月卅日迄の汽船十二隻、貨物七万八千七百九十七噸を突破、汽船廿三隻、貨物十四万六千三百七十噸の數字を示してゐる

パ延產組陣に新鋭一つ
ツパン產組誕生！
初代理事長に上田品太郎氏

來る九月七日にはパウリスタ鐵道もツパン驛まで延長開通されることゝなり、最近同市の發展目醒しく、從つて邦人の入植者も續々踵を接するといふ有樣に、先般來產業組合設立の必要が叫ばれてゐたが去る六月以來同地の重鎭上田、右田、阿部氏等の獻身的努力と地方植民者の理解とによつて漸くその氣運熟し、去る七月廿一日創立總會を開催するに至つた、當日は獎勵局監督官及び產組中央會堀主事、脇山理事長、勸業部北村技師等列席のもとに盛大に擧行された、總會終了後北村技師は一塲の講演を行ひ、產業組合發展には農村青年の協力が如何に必要なるかを力說し多大の感動を與へた、これでパ延長線もペラクルス、マリリア、ポンペイア、パストス及びツパンと產組陣は愈よ强化された、因に當日選出された同組合初代役員は左の諸氏である

理事長上田品太郎、專務理事右田辰彥、常務理事阿部友貞、理事中村比羅夫、林寬一、八木儀一、汭尻嘉逸、正監事下岡辰一、重松新平、錦織常一、豫備監事家入來喜、遠藤爲作、宮本金吾

寫眞說明…過日大統領がサントス・ヅモント飛行塲から出發の際、見送りに出席の伯國空軍士官らの制服は區々であつたがその中空相副官エパトン・フリツチ中尉の着用せる制服は一同に考慮を喚起した、ロツキード・オ・五號の側に立てる同中尉のスマートな制服姿がそれである

【リオ卅日發】ソウザ・コスタ藏相は、本一日リオ市出發聖市訪問の途に上る事になつた

◆—◆

本年ブエノス・アイレスに於て行はれる汎米陸上競技大會への出塲選手銓衡豫選大會は聖市州立パカエンブ競技塲で來る八月卅、卅一日の兩日リオ、サンパウロ各競技クラブ出塲の下に盛大に擧行せられることに正式決定した

◆—◆

シネマ脚本及劇壇の作家として有名な佛人パウル・エスコヒフエルは、三十日パリーに於てその生涯の幕を閉じた

◆—◆

一昨日早朝、殆ど時を同じうして二つの事故があつた——午前七時十五分、自家用車を操縱してゐたセバスチオン・ゴンサルベスは、ジオゼ・ゼツリオ街との角に於て顚覆、重傷を負つた

◆—◆

今一つはグロリヤ街一六六番地のプレジオ邊において午前七時二十分頃、オニエラ・イウスカといふリトアニヤ人が電車に引きづられて重傷、何れも病院で加療中

◆—◆

トレス・バラス移住地遠藤仲買店從業員酒場某（假名）は主家の棉實上金參コントス余を拐帶行衛を晦ましたので、目下探索中

◆—◆

既報の如く新總領事原薰氏の歡迎會がホテル・テルミヌスに於て、來る六日午後七時より五團體主催のもとに行はれるが、右出席希望者は前日五日午後までに五團體へ申込まれたしとのこと

◆—◆

マリリアの岡本專太郎氏は、パ延長線（ソナ・デ・マツトまで）ノロ線、ソロ線の三線地圖を印刷發行したが、同地圖は聖市遠藤書店とマリリア市バザール東京で發賣中である

"凄い前人氣"
マリリア相撲大會

來る十六、七の兩日に亘りマリリア相撲協會主催のもとに同市に於て開催されるパ延長線各驛對抗相撲大會には、ノロ、ソロ兩線屈指の猛者連も多數飛入り申込み大した前景氣を見せてゐるが、さらに海興、ブラ拓、東山から各一本づゝの優勝旗、パウルー領事館から優勝カップ一基の寄贈あり、いやが上にも人氣をあふり、當日の盛況が期待されてゐる

去る日曜日の
野球三試合

カナカオ對オラトリオ　カ・ナカオ野球部ではオラトリオに遠征同地軍と一戰交へたが、オ軍勝股投手の好投に阻まれて十五對五で慘敗した

◆

ブラザー對羽瀨　誕生して日は淺いが六勝一敗で氣を良くしてゐるブラザーチームは羽瀨チームと西谷球塲で一戰試みたが七對六で惜敗した

◆

"送別野球"　蜂谷チームでは去月一杯で退店した佐藤投手の送別野球を同店球塲で行つた

民間二機命名式
バイヤ州首府に於て

民間機「パウロ・シントラ・レイテ號」「パラグワス號」兩機の合同命名式はバイヤ州サン・サルバドール・イビタンガ飛行塲に於て卅日午前十時盛大に行はれた、各關係者出席のもとに先づ「シントラ・レイテ號」はバイヤ執政官夫人、次いで「パラグワス號」は同市長ネベス・ロツシヤ氏夫人のマドリンニヤによつて各々式が行はれた

獨女子水泳界の新星…去る五月十一日ドイツ・デユツセルドルフ市で二つの世界記錄を作つたアンニー・カペル孃の現在までの記錄は平泳四百米6分13秒8を6分11秒8に更新、さらに五百米平泳においてオランダのワールベルグ孃の作つた世界記錄7分11秒9を更新7分43秒4の新記錄を樹立した

印度には一握りの米もない
タゴール翁・英の搾取を痛駁

ボンベー通信によると、久しく沈默を守つてゐたインドの詩聖タゴール翁は、英國の戰爭遂行の犧牲となつて困苦に惱む二億インド人に代り、烈々の辯を吐いて起ち上つた、すなはち去る五月十四日附ボンベー紙の報道によると、英國官邊がインド人の戰爭遂行に對する消極的態度を難ずる聲明を發したに對し、タゴール翁は次の如き反駁を加へた「英國は飽くなくインド人を搾取した結果、インド人は飢餓に瀕してゐる、インドは英國に對して食料品を供給したゝめ、インド人の手にはもはや一握りの米も殘つてゐない、しかも英自身はインドの流血の慘事を喜んでゐるのだ、英國人がインド人の嫌惡を買つてゐるのは英國人自身の失敗である、なぜなら英國人はインド人の信義を裏切り、自己のポケツトを滿たすために多數インド人の幸福を犧牲に供した、英國人はこの事實に大いに慚愧してよからう、英國はこれ以上インドに不正と侮辱を加へてはならぬ」

聖市の邦人學生諸君
ピラシカーバへ"交歡遠足"

聖市學生聯盟の管理校たるルイスデ・ケイロス中央專門學校の招待を受け、去る廿七日（日曜日）聯盟員一同ピラシカーバ市に遠足を行つた、一行は同驛にてケイロス校委員に迎へられその案內にて同地農大を訪問交歡を行ひ、それより市中央の聯盟會館に於て行はれた盛大な歡迎パイレに出席、心ゆくまで日伯親善と相互の親密を計つて歸聖した

"新總領事原薰氏"
＝明二日午後空路來聖＝

既報—去る卅日リオ入港の米船で着伯した原新總領事は明二日午後零時四拾分コンゴニア空港着の飛行機で聖市に着任することゝなつた

收穫新記錄二ツ
中央線陸競大會終る

中央線青年聯盟主催第七回中央線陸上競技大會は既報の如く去る十九、廿の二日間に亘りモヂ市產組グラウンドに於て擧行されたが、二年連續優勝に意氣込んだモヂ軍は一九八點を獲得して豫期通り壓倒的大勝を博し向井捷次郎氏寄贈優勝旗を確保した

當日の記錄左の如し

百米和田（ス）一一秒九◆二百米豐田（モ）二五秒◆四百米江森（モ）五七秒五◆八百米下村（モ）二分一七秒七◆千五百米樋口（サ）四分四六秒三◆五千米松林（イ）十七分五〇秒◆一万米松林（イ）三七分五九秒◆百十米障碍和田（ス）一九秒七◆四百米繼走モヂチーム四九秒◆千六百米繼走モヂチーム三分五八秒◆走高跳杉本（ス）一米六〇◆走巾跳豐田（モ）六米一一◆三段跳杉本（ス）十三米三三（大會新記錄）◆棒高跳本田（サ）三米一三◆円盤投清水（イ）二七米一一◆砲丸投和田（ス）一〇米一〇◆槍投奧山（モ）四五米五三（大會新記錄）

各チーム得點

モヂ	一九八點
イタケーラ	九七點
スザノ	九五・五點
サントアンドレ	四五・五點

表彰された
本邦民間鳥人の功勞者
"ニッポン"の中尾機長

母國の遞信文化作興機關の遞信協會では昨年表彰規定を制定し、遞信事業とこれに密接な關聯のある事業功勞者に遞信文化功勞章を授與することに決定したが、過般その第一回表彰者として銓衡された十二名の中に、一昨年"ニッポン"號の機長として世界一周大飛行の折ブラジルにも飛來したことで我々とも馴染の同氏は特殊功勞者として表彰されたもので世界一周飛行を完成した中尾純利氏がある

その飛行區間の大部分は本邦民間鳥人としての處女空であり殊に札幌、ノーム間の北太平洋四、三四〇キロ空路の開拓、南米アンデス越え、南大西洋三、〇三〇キロ横斷等の長距離飛行に際しては、溫度氣候の急變にも拘らず終始一貫一回の事故もなく翔破し、わが國航空技術の卓越と國產航空機性能の優秀性を中外に宣揚した功績によるものである

—寫眞は中尾純利氏—

社告

讀者諸賢の御憂慮を煩し候外國字新聞問題に關し政府の御指令を一刻千秋の思ひで待ち居り候處昨卅一日午前十一時不取敢延期の旨宣傳院より發表の惠に浴し引續き發行し得る事と相成候　敬具

一九四一年八月一日

伯剌西爾時報社

蔬菜相場
（コチア產組調）七月卅一日

トマテエスペシアル	32	40
プリメーロ	23	30
セグンド	10	13
レポーリオ	4	7
ピメントン	5	10
パージ	10	20
エルビーリア	10	13
ポプリンエロ	15	18
ベビーノ	30	50
人參	1釬600	
コーベフロール	6釬	
メメメ	5	10
ナス	10	16
玉子	2,2	2,7

病源掃滅根本治療
医療で治らぬ難病專門
マリリヤ市郵函368
パエスレーメ街三三一
鍼灸マツサジスト
磯谷本院

棉の相場
サンパウロ棉花取引所建値
七月三十日
單位十五キロ

	買値	賣値
四級	五八、〇〇〇	六〇、〇〇〇
五級	五一、五〇〇	五二、〇〇〇
六級	四七、〇〇〇	四八、〇〇〇

銘酒
日乃華
日乃本
防腐剤絶無保証

壽司・洋食
お多福食堂
安くて、美味しいお多福の料理
其の他御注文に應じ調理致します
聖市コンデ・ド・ピニヤール五十一
出前はお電話で二四七二四

NOBIS
ブラジルで最優良のガジミーラはマルカ「ノービス」です
染色絶對保證、優美な新柄模樣、値段廉價
御出聖の際は是非當店に御立寄下さい
製造販賣元ラニフイシイオサンタ・ローザ
聖市ベンヂヤミン・コンスタンテ街四八番　電話三—六三四一
R. Benjamim Constant, 48
Fone. 3-6341 - São Paulo

急募
見習又は少し經驗の有る方　五名
ヂヤルヂン・アメリカ區
アラメーダ・ロレーナ街一〇五一番
チンツラリア　ロレーナ

Casa de Saúde
Dr. DANELUZZI
P. Prudente
X光線診斷
頭部、肝、心臟、肝臟、胃、腎臟、骨格、齒等
カーザ・デ・サウーデ病院
プ・プルデンテ驛

Alliança da Bahia Capitalização S. A.
Capital: Subscripto 2.000:000$ Realizado 800:000$
PATEO DO COLLEGIO 3-A
Caixa Postal 2450 S. Paulo Tel. 2-4782 2-7559
一九四一年七月分抽籤發表
1° 13.513
2° 19.058
3° 02.412
4° 08.715
5° 13.168
アリアンサ・ダ・バイヤ貯蓄銀行
日本人部

開店御披露
今度當市內田醫院前に靴店を開業致しました故精々勉强、親切につとめますれば何卒御利用下さいまして御愛顧御引立の程一偏に御願ひ申上げます
靴・製造販賣並修繕
プ・プルデンテ市（內田醫院前）
黑木富藏

洋裁修業部　裁縫科及び家事手藝等の隨意科
日本語科　小學校、中等學校程度
ブラジル語科　グルーポ程度
寄宿生收容部　小學兒童其の他の家庭的訓育
公認　ピネイロス裁縫學院
Rua Pedroso de Moraes, N.° 645
Pinheiros - São Paulo
高橋達子

謹告
球陽協會＝定期總會

一、時日　八月三十一日午後一時
一、場所　聖市　萬平ホテル
一、協議事項＝本會登錄ノ件及ビ積極的進出ノ件其他

右の通り役員會にて決議仕候間各支部代表並に會員諸彥の御出席を請ふ

在伯球陽協會

故　夫淺次儀　七月二十三日午前九時他界仕り候に付き生前厚知諸賢に謹告申上候　御葬送の際は御繁忙中にも不拘　御遠路態々御會葬被下其の上多大の御香料且つ御供花を賜り　御厚志の程厚く御禮申上候　實は一々拜趨御禮可申上筈に御座候得共乍失禮以紙上を御挨拶申上候間　何卒不惡御諒承願上候

昭和十六年八月一日

妻　岩崎ヒデ
長男　岩崎泉
妻　岩崎靜子
次男　岩崎貞光
三男　岩崎利光
長女　岩崎光代
親族總代　中川龜作
友人代表　中川藏八
永田佐太郎
榊茂三郎
小林倉次
深松宥
濱地國雄
小林友雄

故　父喜四郎儀豫ねてより療養中の處　養生相不叶十五日午前七時　永眠致し候　茲に生前の御交誼を拜謝し此段謹告仕り候

七月十六日

長男　田中[illegible]
妻　〃　アサエ
親戚　井上喜[illegible]
俣摩國雄
森喜代太
友人　坂田忠太郎
〃　井ノ口佐助
〃　白石卯市

會葬御禮

故　父喜四郎埋葬の節は遠路御會葬被下され且又多大なる御香料を辱うし　御厚志之段難有厚く御禮申上げ候　實は拜趨の上御禮申上可く候處　匆々の折とて乍缺禮以紙上此段略儀御禮申上候

七月十六日　北パラナ州サンタマリア驛

長男　田中勇

時報社の
子供の園！
讀ませねばならぬものは
三釬・一年三十釬（送料共）

Redação — Rua Fagundes, [illegible]
Telefone 7-4670
Caixa Postal, H

NOTICIAS DO BRASIL

Diretór **MASAHIRO SAMESIMA**

Assinatura Anu .... 60$000
Semestre ... 30$000
Numero do dia ..... 300 reis

ANO XXIV — S. PAULO SEXTA FEIRA 1 de AGOSTO de 1941 — DIARIO No. 2543

A EXCURSÃO PRESIDENCIAL

Brilhantes e significativas manifestações de apreço vêm sendo prestadas ao Chefe da Nação

CORUMBA', 30 — Ha vinte e quatro horas, chegava a esta cidade o sr. Presidente Getulio Vargas, para visitar uma região economicamente grandiosa.

Em sua mocidade, o Chefe do governo tambem aqui esteve.

Viera incorporado a um batalhão do Exercito cumprir o seu serviço na caserna.

Agora, depois de muitos anos, tambem vem cumprir um alto dever civico, porque vem observar e examinar uma terra fertil e rica, bem como auscultar as aspirações de um povo nobre, trabalhador e ordeiro.

Corumbá, à beira do rio Paraguai é hoje uma cidade, que ressurge. Através as manifestações sente-se o regosijo do povo.

A ferrovia Brasil-Bolivia vale em verdade, como a maior obra do governo, nesta região, Por ela, dois paises farão uma troca de produtos, incrementando a agricultura e lavoura, e dando um vivo impulso ao comercio e à industria. Tudo isso, através de discursos e saudações, tem sido assegurado ao Chefe do governo.

Nas manifestações populares, por exemplo, as palavras simples do homem do campo, do industrial, do homem de negocios, têm esse sentido profundamente comovedor. Reafirma-se, assim, o sentido de marcha para o oeste, que vem valorizar o homem do sertão, dar vida e estimulo a um Estado, que possue um passado da glorias

A IMPORTANCIA DA BAUXITA

RIO, (Via Vasp) — No territorio nacional, a bauxita, na maioria dos casos, nas ocorrencias existentes e dada a sua localização a flôr da terra, é lavrada a céo aberto.

Para a sua extração, usam-se três processos: o manual, a escavadeira e o explosivo. Ha casos em que o minerio e lavado das impurezas noutros porém, é exportado em estado natural.

A exploração, como é facil depreender, é bem econômica. A bauxita, em face da guerra européia, tornou-se muito necesaria e, portanto, muito procurada de dia para dia, especialmente, noe paises de forte industria aeronautica.

Está, portanto, em fóco essa riqueza do sólo brasileiro, cujas reservas vão adquirindo notavel importancia.

As nossas principais ocorrencias de bauxita, estão localizadas em Poços de Caldas e Ouro Preto, de Minas Gerais, na Ilha Trauria e Maracassumé, do Maranhão e em Conceição de Muqui no Espirito Santo.

Existem tambem depositos de menor importancia como os de Correntia Barra do Mendes, na Baia e o do Entroncamento, no Estado do Rio e ainda outros em Minas Gerais, como o de Lagôa Dourada e Mutuca, este ultimo pertencente à St. John del Rey Gold Mining Co. Ltda.

As reservas de Poços de Caldas são avaliadas em mais de cem milhões de toneladas, as de Muqui, em cerca de dois milhões de toneladas e quanto à do Estado do Maranhão, em muito milhões.

«Técnicos brasileiros dedicam-se a estudos no sentido de ser obtido um processo pouco dispendioso de produção de tostatos e alumina, como subprodutos.

Uma vez solucionado este problema o aproveitamento desses depositos proporcionará fertilizantes fosforicos que suprirão inteiramente as necessidades.

A casca de caroço de algodão, nova fonte de materias plásticas

Muito se tem falado sôbre a matérias plásticas, produto de laboratorios, substitutivo das matérias primas primitivas, diretamente tiradas da natureza, melhor aproveitamento dos recursos naturais.

Há pouco, divulgou-se a conquista da cafelite, a matéria plástica mais barata, que vem resolver o problema da super-produção do café, e que o govêrno brasileiro vai explorar em grande escala, tendo já em construção uma fabrica especializada.

Surge agora a notícia de que, na Universidade de Temessee, após onze anos de pesquisas, os técnicos conseguiram a descoberta de uma nova matéria plástica, de multíplas aplicações, tirada da casca de caroço de algodão. Taboas de paredes, cinzeiros, volantes de automoveis, bandejas para chá estojos, poderão surgir agora, dêsse material extraido de um elemento que se julgava inútil.

Por outro lado, em Knoxville, conseguiu-se um novo forno de caroço de algodão, que reduz de duas horas para 15 minutos o tempo de cozimento, produzm ais 10 libras de óleo por tonelada de caroço de algodão, e reduz de 25% o custo de fôrça e decombustivel. O valor dessa descoberta pode ser avaliado quando se recorda que o Sul dos Estados Unidos conseguiu com ela uma economia de mais de cem mil contos, tendo o citado forno sido adotado em vários Estados.

* * *

A cultura do tungue no Brasil

PODEREMOS EXPORTAR 200 MIL CONTOS DESSA PLANTA PARA OS ESTADOS UNIDOS

RIO, (Via Vasp) — O Tungue é uma das mais preciosas plantas do mundo, dele se extraindo o conhecido tung-oil, de grande aceitação nos mercados mundiais, sobretudo nos Estados Unidos. E' o oleo da tungue muito utilizado na fabricação de tintas, vernizes e impermeabilizantes, aplicaveis em navios, automoveis e aviões. O oleo da oiticica brasileira é o seu maior rival. Entretanto, apesar de originaria da China, onde é planta sagrada, o tungue se adapta perfeitamente no Brasil particularmente na região sul.

São Paulo possue já extensas culturas dessa preciosa planta. Durante as visitas dos técnicos americanos da missão Carnegie a esse Estado, foi revelado que o Brasil poderia exportar dentro de poucos anos, para os Estados Unidos, de 10 a 20 milhões de dolares de tungue.

Iniciada ha poucos anos, no Rio Grande do Sul, a cultura do tungue já se acha ali bem desenvolvida, devendo existir no Estado cerca de 250 mil pés plantados em definitivo, além de importantes viveiros nos municipios de Cruz Alta, Santo Angelo, Ip' e Tupanceretã. Em Cruz Alta, os viveiros contam com mais de 150 mil mudas de 5 anos.

Surge, assim, para o Brasil nova e valiosa fonte de riqueza, com grande procura por parte do mercado americano.

Precisamos cultivar racionalmente o tungue e providenciar sua industrialização no pais. O Ministerio da Agricultura, por intermedio do Instituto de Experimentação Agricola e da Divisão de Fomento da Produção Vegetal, desenvolve interessantes trabalhos sobre tão valiosa planta, colaborando tecnicamente com a iniciativa particular no sentido de promover o desenvolvimento economico do Brasil.

VENDA de FRUTAS

As providencias do governo para o barateamento do produto — vendedores Registados

O governo do Estado, por intermedio da Secretaria da Agricultura, tomou varias providencias no sentido de baratear as frutas nacionais. Facilitando especialmente, a distribuição de frutas a preços razoaveis, foram instalados diversos intrepostos, onde podem ser adquiridas por preço compensador, pois não ha intermediario nessa venda.

Tendo em vista a existencia da grandes sobras, tanto de laranjas como de bananas, em virtude da retração dos mercados externos pelas razões conhecidas, o governo resolveu tornar esse comercio livre de quaisquer taxas, bastando para isso que o interessado retire o seu cartão na Secretaria da Agricultura.

Este fato permitiu que, até agora perto de 1.000 interessados se registassem naquela Secretaria, afim de dedicar-se ao comercio de frutas nacionais.

Com isso, tambem, muitas pessoas puderam encontrar uma ocupação renumerada, pois que os preços pelos quais as frutas são vendidas no entreposto permite-lhe, revendendo por preços razoaveis, reservar para si uma margem compesadora.

Registaram-se, até agora, 101 cominhões, 430 carrocinhas, 282 carros de mão e 132 ambulantes, o que demonstra o grende interesse que desprtou a recente medida do governo do Estado.

Caixas de laranjas tipo colheita, pesando 40 quilos, e contendo aproximadamente 150 frutas, estão sendo vendidas no entreposto a 3$500, e as bananas a 1$500 e 2$000 cadna cacho.

O Brasil e a economia Japonesa

O agravamento nestes ultimos dias da situação politica e militar, na area do Pacifico, tende a contribuir em larga escala para semear novas dificuldades ao comercio internacional do Brasil.

Como não se ignora, desde o instante em que explodiu a guerra européia, vimos tratando de incrementar o nosso intercambio, seja com as outras nações americanas, seja com os paises da Asia e particularmente com o Imperio japonês, que é, nesse Continente, o nosso melhor comprador.

Realmente, enquanto o conflito não se alastrara ao Pacifico, estavam em fase promissoras as nossas relações mercantis com o Japão. As noticias as mais recentes, vindas desse país, nos diziam que era seu intuito fundar no Brasil filiais de suas maiores empresas bancarias, a-fim-de aumentar o escambo de produtos com nosco. A mais intima vinculação entre os nossos dois povos, se já era uma realidade concreta, antes de 1939, tornou-se mais estreita ainda com o estado de coisas da Europa. De fato, se excetuarmos o fator distancia, no plano economico quasi tudo nos aproxima. O Japão tem necessidade imperativa de divernentares brasileiros. Entre nós, trabalha e se enraizou uma colonia niponica cujo amor ao esforço e à labuta constitue elemento valioso de cooperação a multiplicação de nossa riqueza. Por outro lado, dado o progresso surpreendente de varios ramos da arvore manufatureira japonesa, não padece a menor duvida de que o Brasil deve incrementar tambem as suas compras de artigos industriais a essa nação amiga.

Pode-se ter uma idéia das proporções a que atingiu o comercio brasileiro-niponico, analizando-se este 4.

	Exportação brasileira	Importação do Japão
1936	1.683.333	349.60[illegible]
1937	3.122.106	647.472
1938	1.650.601	473.09[illegible]
1939	2.028.583	479.930
1940	1.838.837	744.290

Deduz-se da relação acima que o Japão, alem de cliente que paga em ouro as suas aquisições externas, confere ao Brasil todos os anos um saldo ouro positivo mais do que apreciavel. O excesso de suas compras sobre as suas vendas ao Brasil exprimiu-se em cada ano desse quinquenio, em importancia superior a 1.000.000 de libras ouro. E note-se que o nosso intercambio está ainda por assim dizer no periodo de infancia, porquanto são amplas e auspiciosas as avenidas comerciais que se rasgam aos dois povos.

A irupção de uma luta armada no Pacifico terá, porem, como consequencia imediata a interrupção quasi que total desse comercio, o que será fonte de prejuisos, e de dissabores para ambas as nações. O Brasil terá, então, que limitar a sua exportação e a sua importação aos paises de nosso hemisferio, à Grã-Bretanha e a um ou outro Estado europeu. Quer isso dizer que seremos compelidos, pela força das circunstancias, a depender, para a nossa sobrevivencia e estabilidade economica pelo menos enquanto durar o conflito no Velho Mundo e no Extreno Oriente, de nosso mercado de consumo interno e da capacidade aquisitiva dos povos americanos e da Ingraterra.

MAIS DE QUINHENTOS CONTOS DE PESCADO

RIO, 28 (Via Vasp) — A Divisão de Caça e Pesca do Ministerio da Agricultura, informa que o movimento de venda do pescado, pelo Entreposto Federal do Rio de Janeiro, atingiu na semana de 13 a 19 do corrente, a 280.494 quilos, no valor de 516:732$

Entre as especies mais vendidas, destacam-se as seguintes: sardinha verdadeira grande, 104.090 quilos, a $417, no total de 46:533$000; batata, 13.340 quilos, a 2$891, no total de 38:569$0 garoupa de 2.a, 11.520 quilos, a 2$959, no total de 34:090$000; cherne, 8.697 quilos, a 3$919, no total de 34:080$5 ro médio, 3.432 quilos, a 8$054, no total de 32:526$000; camarão verdadeiro médio, 3.432 quilos, a 8$054, no total de 27:640$100, badejo de alto mar 6.182 quilos, a 4$155, no total de 25:688$000; xerelete, 12.385 quilos, a 1$7771, no total de 21:928$000, pescadinha, 4.395 quilos, a 4$627, no total de 20:336$200.

LEIA O NOSSO
KODOMO NO SONO
Suplemento do jornal "Noticias do Brasil"

Comissão de investigações da poluição das águas do estado

Esteve reunida, a 16 de julho corrente, no salão nobre do Departamento de Industria Animal, a Comissão de Investigações da Poluição das Aguas do Estado, entidade creada pelo decreto n.o 10.890, de 10 de janeiro de 1940.

Integram essa Comissão os Srs. Franco Bergamim, Rubens Azzi Leal e J.P. Carvalho Lima, respectivamente do Departamento de Industria Animal, Instituto de Higiene e Instituto Bacteriologico, — os Engos. Lysandro Pereira da Silva, J.P. Jesus Netto e Oliveira Penteado, respetivamente da Divisão de Rios da Prefeitura Municipal, Secção de Esgostos da R. A. E. e Departamento das Municipalidades, — os Srs. Hermann Kleerekoper, da Faculdade de Filosofia, Ciencias e Letras, e Orlando Augsuto de Toledo, da Federação das Industrias de São Paulo.

Nessa reunião ficaram assentados as bases gerais para os estudos e investigações que a Comissão deverá efetuar sobre a poluição e contaminação das águas interiores e litoraneas do Estado, de que são responsaveis as descargas de esgosto e residuos industriais, sendo os estudos por fim a elaboração de um regulamento capaz de limitar os efeitos de tais descargos sobre a higiene pública e a fauna dos sistemas hidricos, cujas condições, por outro lado, quasi sempre dificultam o exercicio dos esportes aquaticos.

Segundo ficou resolvido, os primeiros estudos da Comissão terão por objeto o rio Tiete, ora em retificação, e seus afluentes — Tamanduatei e Pinheiros — cujo precario estado de saniade está a exigir medidas imediatas de saneamento, capazes de reduzir-lhe ao minimo o já elevado grau de degradação das águas.

A Comissão já organizou um cadastro das industrias dos municipios da Capital e de São Bernardo que fazem descargas residuais nesses rios e nos seus pequenos afluentes, e está iniciando a classificação dessas industrias do ponto de vista da novidade de seus lançamentos. Proporá ela tipos de tratamento dos residuos condicionando cada problema aos imperativos locais, de sorte que a medida repressiva constituirá um beneficio público, enquadrando-se num esplirito racional e destituindo-se de exargeros de tecnicos e economia.

A questão das descargas dos esgostos domésticos será tambem versada, e a Comissão envidara os melhores esforços, juntos ás autoridades administrativas, afim de que tais fontes de poluição sejam submetidas aos requisitos da tecnica sanitaria moderna, removendo-se as graves incovenientes que a poluição acarreta á salubridade pública e a vida aquática.

Os estudos em apreço, de carater fisio-quimico e biologico, serão orientados dentro dos metodos em uso nos paises mais progressistas do mundo, e obedecerão, naturalmente, as exigencias das nossas regionais.

A Comissão já possue, aliás, uma boa soma de elementos próprios, colhidos nas estações experimentais de de tratamento de esgosto da R. A. E. e no Labaratorio de Hidrobiologia de Departamento de Industria Animal esperando que seus esforços sejam coadjucados por todos quantos se interessem pelo magno problema de saneamento e defesa das águas do Estado, e está ela dividamente aparelhada, como orgão consultivo, a oferecer, a todos quantos necessitem, soluções aos problemas que inspiraram sua organização.

A sede da Comissão fica na Av. Agua Branca n.o 455, nesta Capital (Departamento de Industria Animal).

知らねば大きな損 野火と伯國法律

損害賠償の規定もある

新植付の準備期に入ると共に各方面に野火を使用するため用心はしてゐても、つい思はぬ方面へ火が擴がり悶着が起り勝ちである

大體畑に又山に火を入れることは農業の本義から謂へば最も原始形式であつて、畑地には破壊の結果を生ずるものであり、伯國でも識者間では相當問題となつてゐることは勿論であるが、廣大な面積と稀薄な人口とは、野火を用ひる習慣を今だに存續してゐるわけである、但し法律上は種々之に關する規定があるから近隣より受けた損害その他で示談に不成功な場合には法律のさばきを乞ふ途がある、之に關係ある法律の二、三を示すと次の通り

一九二七年州林業局の法律第四、四六四號降って、二十八年の聯邦伯國林業法、三十四の取締細則等がある

全文を記載することは困難なことだから要點を拾つて見る

大切な森林は申請して保護森指定を受けることが出來る、指定林決定と決定された上は主人と雖もその附近に火を放つことが出來なくなること、此が監督は林業官、その駐所なき所は警官が之を代行する—此の例はカンポス・ジョルドン各地森業試験所林等、之が罰則は勿論ある

州の法律は何處でも野火を放つ場合には、火道の廣さ最低六米を開き、放火廿四時間前に隣地の地主に之を通告すること、又火を放つた上は消える迄立番すること、隣への通告は文句が出そうな場合二人の證人を立てること、右の規定を履行せず文句が出た場合には民間の損害賠償を行ふ他百ミルの罰金を課すとある、又野火の使用許可期間は六、七、八、九の四ヶ月である

右とは別に林業法は一段と嚴重な規定があるから充分戒心の上火を用ふること、又損害を受けた場合には當然受く可き賠償を要求し、文句ある時は法律の力を借用することである

フォルマリン

廣い用途あり

細菌性の病源を完全に驅除するにはフォルマリンを使用すると便利です、伯國名はフォルモノルで何處の藥店にもあります、市販品は四十%です之に水を加へ五十立に増量し何でも危險のありそうな農具、種物等を殺菌すれば宜しい、今年から相當注目されてゐる養雞用の小道具、養鶏用諸材料等良き目標です

又密閉室内では右の原液を皿鉢等に盛り之に生白灰を投入し、早速目ばりして置くと之も完全な消毒を行ひます、液内で生石灰が水と化合する際高熱を發しフォルマリン蒸氣を空中に放散する爲目的を達するわけです

牛乳を小皿に盛り之に少々フォルマリンを垂して置くと油虫、蝿等が寄りつき全部退治出來て妙です但し人にも猛毒だから子供には余程注意を要します

檢卵に新機軸

養鶏業者に福音 北米技術者の考案

最近北米メリーランド住のMオルソンとCノックスと稱する養鶏技術家は孵卵器中へ入れた鶏卵の檢卵を極く早期に實施し、非常に面白い成績を擧げてゐる、其大要次の通り

一、從來の檢卵器とは別個の工夫を用ひ胚子を横から見ること、電球は從來とは別種の物即ち青色燈の強力な品を使つてゐるらしい

二、入卵後滿廿四時間經過後の檢査によると、受精卵に於ては胚子は著しく肥へし十七ミリの黒斑となつて現れ直ちに之を認められるが、無精卵は何等の黒斑を現さず明朗を極めてゐるから、一寸最初の練習で如何なる素人でも忽ち之を習得出來るとある

右の程度では未だ血線を生ぜず無精卵は又何等外觀に變化を生じないから市販に供しても少しもその市價を落さず販賣出來るわけであり、無駄に燃料と卵を失はず、大養鶏場孵卵業者に大きな利益を齎すことゝなつた

尚練習を積めば更に早くから受精の有無を檢出出來る由であつて次の如き數字を發表してゐる

	確率
十二時間	八八・二%
十四同	九二・一%
十六同	九七・六%
十八同	九八・一%
廿四同	一〇〇・〇%

又澤山の檢卵の結果は大體一〇%は無精卵があることも決定したと報告してゐる

種物大暴騰

歐洲産の農産種子が今年程高價なことは近年無いことで農業各方面で大問題を起してゐる、二、三の例を擧げると次の通り（値上率）

人參	七〇〇%
ペテラーバ	六〇〇〃
アリョ・ポロ	六〇〇〃
アルファセ	三〇〇〃
コーベフロール	三五〇〃

等々だが今でも歐洲種はある出所はイタリヤの飛行機とポルトガルの船で持參するからである

フンシヨ

野菜と藥と兼用

西歐人が珍重して止まない蔬菜であるが此程日本人と縁の遠いものも稀であらう、從つてどんな物であるかも同胞間では殆ど知られてゐないから恐らく知つてゐる人さへ稀なものである

古來支那では珍重したものであつて勿論藥として：茴香と立派に支那名がついてゐる、何となく日本人好きがせぬ特種の香を持つてゐて面白くないもの、人參の親戚筋に當り葉柄の根元が玉葱大に肥大した所を食用とする變り物である、主に上等サラダ用である

栽培用品種はフンシヨ・ドーセと稱するもの、又の名はブローンニュ種といふもの、種から初める、春さきが最も適季である、發芽後間引くか假植えし（十五日位）定植は三寸大の頃三十糎に五十センチ植えとする、八月に播けば翌年四月頃から熱季に入るから根元に土を寄せ肥大と軟化を行ひ、市販用には葉の大部分を切り落して出す、適地は重粘土が良く肥料はシッカリ必要である

目先の變つた野菜物を希望する農家に面白い對照物であつて稍贅澤物だけに相當儲けあり且つ違作の少いものゝ一つである

—|—

農家便覧

◇—

堆肥の良好なる熟成上最適溫は六十五度以下のこと、良き内にも更に好ましき溫度は五十度から六十度で最高發酵を行はしむべきである

◇—

今からでも間に會ふ綠餌は燕麥である、青刈、種實共に万般の家畜に良い

◇—

乳牛の乳量が急に減つたなら一應發情であると見る可し、事實ならば三日後元に戻る、然らざる場合は何か病氣があるから其の方を注意のこと

◇—

蜂蜜を湯で稀め之にレモン汁を加へると絶好の風邪藥となる、アスピリン以上の効目あり

◇—

五百キロの牛の骨は廿五キロ乃至三十キロ、三年掛りで草から集めた貴重な燐、石灰の組合せ